

オトテールの組曲 クープランのクラヴサン小品とともに

リコーダー

本村睦幸

チェンバロ

棄形亜樹子



ジャック・オトテール “ル・ロマン”

組曲 作品2の3 変ロ長調（原調：ト長調）

フランソワ・クープラン

第26オルドルより(チェンバロソロ)

病み上がり、ガヴオット、ソフィー

ジャック・オトテール “ル・ロマン”

組曲 作品5の2 ハ短調



2016年9月14日[水]

Space 415

中野区新井2-48-12

<http://space415.info/>

JR中央線／東京メトロ東西線
中野駅北口より徒歩12分

野方警察署近く、区立野方児童館の隣
「芦野」の表札がある入口を入ってすぐ右の建物の2階

休憩なし60分のトークコンサート

同プログラム3回公演

昼 13:30 開演 (13:00 開場)

夕 16:00 開演 (15:00 開場)

夜 19:40 開演 (18:00 開場)

全自由席 ¥3,000 要予約

■ご予約・お問い合わせ

デ・ルストホフ: lusthof.concerts@gmail.com

あしの: 090-6045-9311

<http://mutsuyukimotomura.com/>

中野の Space 415 で、トークを含め、休憩なし 60 分のプログラムを 1 日 3 公演行う「小さな室内楽」の第 20 回は、チェンバロの葉形亜樹子さんをゲストにお迎えして、オトテールの作品をい中心にお聴きください。当時のフランスで管楽器製作家・演奏家を輩出したオトテール一族の中で、自ら「ル・ロマン（ローマ人）」と称したジャック・オトテールは、管楽器の表現をそれまでにない段階に高めたといえるでしょう。第一には 1 鍵横吹フルートが想定されていますが、移調してリコーダーやオーボエ、ヴァイオリン、高音ヴィオール、チェンバロソロ（！）でも演奏できると明記しています。今回は、作品 2 の 3 の方は、オトテールの指示通り移調してアルトリコーダーで、作品 5 の 2 は原調通り、試みとして変口管テナーを使用してみます。加えて、葉形さんには、オトテールの同時代を代表するフランソワ・クープランの作品をチェンバロソロで弾いていただきます。どうぞお楽しみに。



小さな室内楽 第 20 回予告

11月2日（木）
本村睦幸、宇治川朝政（リコーダー）
<バロックリコーダーデュオ名曲選（仮題）>

中野駅より徒歩約 13 分、赤系、青系矢印どちらからもいらっしゃれます。が、
お薦めは北口左手のエスカレーターを上り平和の森公園を通り抜ける青系コースです。

本村睦幸 Mutsuyuki Motomura (リコーダー)

アムステルダム音楽院卒。W.ファン・ハウエラに師事。アムステルダムを拠点とする十余年に渡る活動を経て、2001年に帰国。リコーダー音楽が花開いたルネサンス・バロック時代の室内楽の楽しみを現代に活かすことを夢見て、愛好家の方々にとっての聴く喜び、奏でる喜びの双方を見据えた活動を展開している。現在は、リコーダーに本来的な小さなサロンのあり方を探る「小さな室内楽」シリーズを東京での活動のベースにおきながら、リコーダーの様々なレパートリーを網羅的に取り上げる「本村睦幸リコーダーシリーズ」や、古楽器に限らない多様な演奏家との共演、現代作品の委嘱などをも通してリコーダー音楽の可能性を追求している。CDに「オランダバロックの愉悦」、「バルサンティ:リコーダーソナタ全 6 曲」、「無伴奏リコーダー 600 年の旅」があるほか、昨年は、CD「テレマン:無伴奏フルートのための 12 のファンタジア」に加えて、同曲集のアルトリコーダー版を全音楽譜出版より校訂出版している。ホームページは、<http://mutsuyukimotomura.com/>

葉形亜樹子 Akiko Kuwagata (チェンバロ)

東京藝術大学附属音楽高校、同大作曲科を経てドイツ政府奨学生としてデトモルト音楽院、シュトゥットガルト芸術大学のチェンバロ科修了。国家演奏家資格取得。パリに移りセルジー国立地方音楽院等で教鞭を取る傍ら欧州各地で演奏活動に従事。日本文化庁在外研修員としてイタリア、スペインでチェンバロ、オルガンの研鑽を積む。パリ、ブリュージュ、ライプツィヒ国際チェンバロコンクールで上位入賞。17 年の欧州滞在後 2000 年に帰国、現在東京藝術大学非常勤講師、松本市音楽文化ホール講師。演奏活動の他に音律、古楽演奏に関しての講演、音大での特別講義も多数開催。